



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

次年度に向けた準備を始めています

今年は天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位という慶事が予定され祝日が続くことから、4月からの新年度は授業時数の確保が最優先課題となります。今年度並みの日程ではS部門の高等部の授業時数が足りなくなることから、儀式的行事の日程変更、短縮授業の縮減等をして授業時数の確保を行います。以下に次年度教育課程の大きな変更点についてお知らせいたします。

1 入学式の日程変更

これまで入学式は小学部、中学部、高等部の順で実施していましたが、次年度は高等部(4/9)、中学部(4/10)、小学部(4/11)の順に実施します。

2 S高のみ始業式、終業式の日は2便下校

S高等部は1学期、2学期の終業式日と2学期、3学期の始業式日には給食を提供し、2便下校とします。

3 N中学部スポーツフェスタの変更

オリンピック・パラリンピックに関連し江戸川区総合体育館の使用が困難となったことを受け、本校第1・第2グラウンドでの実施に変更します。実施時期も10月第4週に変更します。

4 他の行事の変更

その他の行事についても実施時期を若干変更します。具体的な変更については3学期の全校保護者会や「虹の橋」でお伝えします。

東京都小学生科学展で発表しました！

東京都教育委員会が主催する、平成30年度東京都小学生科学展が1月11日から14日まで、江東区青海にある日本科学未来館で開催されました。本校からはS小4児童の研究が選ばれました。研究主題は「コンピュータの処理を体感する」です。13日(日)には他の小学生に混じって研究発表をしました。クラスメイトも見守る中、自分の研究を堂々と発表。質問にも落ち着いて答えていました。また、他の小学生の研究についても、研究の大変だったところを想像してほめるなど、自信をもって話げできました。

肝心の研究内容ですが、コンピュータで描いた図形がどのコンピュータでも同じ形で再現できることに着目し、自分自身がコンピュータとなってみて図形を送信、受信することをシミュレーションしたというものです。具体的には升目を塗りつぶした図形を児童がお父さんにランシーバーで伝えてお父さんが再現できた時間を測定しました。升目の数を変えたり、お父さんとお母さんのやり取りとの比較をしたりもしていました。ノイズなどの外部要因によっても処理速度が変わってくるなど、考察を深めていました。

私も一般的な理科実験とは違ったユニークな発想の研究に感動しました。発表後、小学校の理科の先生たちが、児童の展示パネルの前で、「私にはこんな発想はできない！すごいねー！」と驚きの声をあげていました。

発表を見に来ていた児童たちは、「来年は自分も発表するぞ！」と抱負を語っていました。将来の科学者を目指して頑張っていきましょう！

本一色自治会の新年会に参加しました

1月14日新年恒例の本一色自治会の新年会に栗原PTA代表会長と共に参加いたしました。近隣の小中学校の校長先生とPTA会長様が参加していることから、鹿本学園もお願いして仲間に入れていただいています。本一色自治会は人口1万2千人を超える大きな町会です。昨年は本校の一泊二日宿泊防災訓練に婦人部の方に参加していただき、本一色自治会の総合防災訓練には本校生徒・教員が参加しました。25台のスクールバスが毎日3回出入りする本校の教育活動を温かく見守ってくださる近隣の皆様の御理解・御協力があってこそ、この地で学習活動を継続できるのです。車の渋滞等で苦情をいただいたこともありましたが、真摯に対応してくれたとお褒めの言葉を頂戴しました。交流教育連絡会や地元へ伝承されている葛西灘子の学習、社会貢献活動等で、本一色自治会及び地域の皆様方と連携を一層深めてまいりたいと存じます。

鹿本学園校長 庄司 伸哉

～ S部門 訪問学級紹介 ～

訪問学級には現在、S部門小学部7名、中学部4名の児童・生徒が在籍し（今年度の高等部在籍生徒はいません）、最大週3回（1回2単位時間）学校から御家庭などへ訪問して授業を行っています。訪問授業では、一人一人の課題や体調に合わせ、音楽（歌遊びや楽器を使った活動など）、国語・算数／数学（読み聞かせやパネルシアター、タブレット端末を使用した学習など）、図工／美術（感触あそびや制作活動）などの教科学習、自立活動（身体を取り組みなど）、生活単元学習（季節に沿った単元や調理単元など）などに、御家庭の御協力のもと一対一で丁寧に関わり学べる良さを活かして取り組んでいます。小学部では、外界に心を開き、関わりをつくっていくことを大切にしています。中学部では、小学部での学習の積み重ねを基に、自立活動を中心とする学習、外界を捉える力を高めることなどを主目標とする学習を行っています。今年度の在籍生徒はいませんが、高等部では進路や社会参加を踏まえた幅広い課題に取り組んだり、福祉制度などの活用可能性を広げたりしていくことが大きな課題になります。

また、通常の訪問授業では難しい「友達と一緒に学ぶ」ことや「集団参加」などを目的に、児童・生徒各々の体調やペースに合わせて学年や学習グループの友達と一緒に通常授業や行事などに参加するスクーリングも行っています。学年通信や学習グループ通信などを通して訪問生の様子をお伝えすると共に、様々な形で皆さんと交流できることを願っています。

S部門 中学部 訪問担当 関 紀子

～ N部門 虹輝祭をふりかえって～

平成30年12月8日に、第5回N部門虹輝祭を開催いたしました。

寒さの厳しい中、保護者や御家族の方々に加えて、地域の方々や元教職員の方々といった多くの方に御来校いただき、日頃の学習成果の発表を行いました。今日までの教育活動で学んできたことを友達同士で協力し合ったり、助け合ったりしながら虹輝祭の発表の場で生かすことができました。虹輝祭開催にあたり、様々な面で皆様の御協力をいただいたことに御礼を申し上げます。

舞台発表では、小学部第1学年から中学部第3学年までの全学年が日頃の学習の成果を発表しました。どの学年も、個性と創造性溢れる内容になっており、学年が上がるにつれて一人一人のできることが増え、自主的に取り組む姿がとても印象的でした。また、体育館後方とN棟図工・美術室では図工・美術作品の展示発表も行われました。版画やリース、陶芸など児童・生徒の個性豊かな素晴らしい作品を御覧いただけたかと思います。

舞台発表、展示発表ともに、児童・生徒が生き生きと取り組み、一人一人が輝いた行事となりました。温かい御声援ありがとうございました。

N部門 虹輝祭担当 高橋 有希

進路指導の取り組み（サポートデスク：進路担当）

《S部門》高等部卒業後の進路に向けて、段階に応じた学習をしています。中学部3年生で、1日の就業体験、その後は、高等部2年生での就業体験、高等部3年生では進路決定に向けての就業体験という形で進めてきました。学校ではない場所で、どのような生活をしていくのかということ、本人だけでなく、保護者の方や多くの支援者の方々と共に考えていきます。2月の中旬には、多くの方の進路先が決定します。高等部1・2年生は、進路希望調査を基に、次年度の就業体験先のお話を個人面談等でさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

S部門 進路指導担当 佐々木 亜衣

《N部門》中学部2年生は、職場見学として学校近くのスーパーとホームセンターへ行きました。中学部3年生は、高等部の学校見学（平成30年6月6日に白鷺特別支援学校の見学・6月21日に江東特別支援学校の見学）を実施しました。3学期には江東特別支援学校と白鷺特別支援学校の作業学習の授業体験を実施予定です。これらの体験を通して高等部の学習について見通しをもち、中学部卒業後の進路について考えながら自身の課題を意識できるよう進路指導を進めていきます。今後も各関係機関との連携をさらに深めていくとともに、保護者の方々と連携を取り合いながら、生徒一人一人に応じたきめ細かい指導を目指していききたいと思います。

N部門 進路指導担当 伊藤 瑞枝

